

謹賀新年

平成29年 年頭のごあいさつ



牧之原市議会議長 良知義廣

新年明けましておめでとう
ございます。
市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年、魅力ある議会運営の推進に努めてまいりましたが、今年、地域の発展のための諸課題に取り組んでいくためにも、柔軟性に富んだ議会運営を推し進めてまいりたいと思っております。
議会として昨年も、市が行う各種事業の監視機能を適切に行うとともに、2020年東京五輪のサーフィン競技開

催地に立候補して招致活動を推進したこと、呼応して「サーフィン議連」を結成、同一歩調をとりました。また、18歳選挙権による市内高校への「議会だより」の配布、フェイスブック導入による情報発信の強化など、開かれた議会の推進に努めてまいりました。今年10月に市政の重要な役割を担う議員の改選を控え、昨年にもまして、予算や決算の行政チェックに視点を置くとともに、市民の皆様様に議会活動をご理解いただき、議会報告会につきましても、工夫を凝らし

ながら開催してまいりたいと思っております。
また、市民の皆様のご意見を行政に反映していくよう、積極的に各種団体などの皆様と意見交換会を開催し、政策提言を行うとともに、市民による議会モニター制度導入の検討など、活力ある議会運営を目指してまいりたいと思っております。
本年も、市議会に対しまして深いご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

地域の発展のため柔軟性に富んだ議会運営を目指す



牧之原市長 西原茂樹

新年明けましておめでとう
ございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年の暮れ、牧之原にとつて嬉しいことが2つありました。1つは牧之原市と東京渋谷を毎日4往復する直行バス「渋谷ライナー」が誕生しました。市民の利便性向上はもとより、東京から多くの人々が牧之原市に来ていただけるよう、魅力の発信に努めます。そしてもう1つは「ちやっきり茶太郎」を歌う橋幸夫さんに、静岡牧之原茶親善大使

を受けていただいたことです。牧之原茶の元氣を取り戻す音頭をとっていただけるものと期待しています。
平成24年度に市民の皆様と一緒に策定した津波防災まちづくり計画から5年、津波避難施設の整備は急ピッチで進み、来年度には全ての施設が完成します。今後は海岸防潮堤の早期完成を、実施機関である県などに強く要請してまいります。
現在、大手の市内立地企業はおおむね好景ですが、さらに地域経済向上や雇用確保のため、牧之原インターチェン

ジや空港周辺の高台開発を急ぐとともに、サーフィンなどの観光・スポーツを核として、豊かな海岸線を活かした海岸部再生計画も策定を急ぎます。また、この4月からは念願でありました光ファイバー網が市内で100%整備され、子育て施策の充実も合わせて住みよさが向上してまいります。
本年も、市民の皆様と対話による協働のまちづくりを目指して、活力と希望にあふれる地域づくりに努めてまいりますので、市政へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

活力と希望にあふれる地域づくりを進める